



五

松山路電隨筆

完



天明二年

茶の香尚陸奉

試筆

蓬 菜 也

安 保 々 中 以 毛

志 々 々 々 々

精

吾 子 宮 菜

松 露 膏

響も橋を根すまをのちりか
切敷の中や取もあはにいたのこ
あゝの申入江の瀬のくをこめ
家門のやうな志くぬえの秋
轉戸あや旅を去るの聖旅たを
雨をまやあふい出燈のを後こら
方丈のまのつゝ入すりやあつた
ゆもまかゝるまの留ゆも仙のあ家
まのあまゝの申に其のあゝ

節も
取歩
取之
水城
石川
石岩
糸村
新色
風色

あまのあや轉りくをぬゝあ
枯あゝやまの瀬こゝんゝあ
とゝゝや松細くをぬゝあ
あ代まの掉たゝらゝまの申
あはまゝゝあを人ゝあゝあ
さゝあゝあゝあゝあゝあ
あゝあゝあゝあゝあゝあ
あゝあゝあゝあゝあゝあ
あゝあゝあゝあゝあゝあ

常旭
葉屋
あ城
取之
鳥報
取歩
茶壺
石川
石岩

茶壺

岸子流やあまのぬけりし

鉄

船のりしちよ由く舟や中を在舞

蒼湾

草と根をさしきあうく野を天く船

女化

山多まやあうはく水は木のまきく

急石

舟やあういあふ舟と船をさるく通

徐舟

野あうすけ船の風ぬく文部江

眉尺

松のさきのかきあうまや船子のまき

雪雪

梅多くぬく雨あうのく船う船

湖天

清くさる根の流し雨あうの船

又唐

この出

清くさる根の流し雨あうの船

板舟 船行

舟のりしちよ由く舟や中を在舞

四方 巴井

草と根をさしきあうく野を天く船

舞のち 天年

山多まやあうはく水は木のまきく

坂田 夜松

舟やあういあふ舟と船をさるく通

多田 急足

野あうすけ船の風ぬく文部江

野好

松のさきのかきあうまや船子のまき

水陽

梅多くぬく雨あうのく船う船

宮丸

や〜〜〜の吹松風うあまの風
文巻

簾の体はあけり〜夏の山
曾曲

す〜〜と竹の子体はあ〜〜の
聖光

様見は譲り〜あや風の音
玉文

照り〜あや編書の志はあ〜
知十

音鳴とあ親父あ〜〜細代舟
至深

た〜〜あや合衆の折はあ〜
あ松

あ〜〜あ戸〜〜あ〜
古松

あ〜〜あ新筆〜あ〜
柳志

あ〜〜あ〜あ〜あ〜あ〜
柳

あ〜〜あ〜あ〜あ〜あ〜
知扶

あ〜〜あ〜あ〜あ〜あ〜
星鳥

あ〜〜あ〜あ〜あ〜あ〜
瓜洲

あ〜〜あ〜あ〜あ〜あ〜
玉琴

あ〜〜あ〜あ〜あ〜あ〜
琴文

あ〜〜あ〜あ〜あ〜あ〜
短車

あ〜〜あ〜あ〜あ〜あ〜
魚雲

あ〜〜あ〜あ〜あ〜あ〜
東漢

歌の流るるや花由と水の
中を流るる襦袢の如く
幾や一と入列し老よ年未老
若井や門の如くはまあこま
よめし子めりる如くは
吾も一と他も流るるや
刺し如く柳を植へし
もくも一と他も流るるや
はまの如くは

地引 二尾
うま 代首
一のま 奇風
まお政 太古
竹寛
十竹
芥子 抄巻
吉田 夏口
生原

あふり

又足すたるもをさるる
舟のそらにぬえたる
ぬえたるもをさるる
そらにぬえたるもを
あふりたるもをさるる
あふりたるもをさるる
あふりたるもをさるる
あふりたるもをさるる
あふりたるもをさるる
あふりたるもをさるる

お徳三三
うま 龍
あふり 龍
あふり 龍
あふり 龍
あふり 龍
あふり 龍
あふり 龍
あふり 龍
あふり 龍
あふり 龍

言はらけ柳ちりり 鞠の如き
白芥子の志らきちりり 柳の如き
あやうにらき若きりり 鏡 磨

らりり

白 大梁

白 春海

三崎 市明

川路にらきあやうに 柳の如

河田

眠碎

馬鹿衆一喝を給りり 梅の如

夷川

吹まらり 雪湯の底の如きりり

谷直

あしきの壺や 一ひりりりり

吉野

あやうにらき物さき若きを林の白

白雲

昔一舟あさけて 鳥の如き

一鳥

松道のまきらき若きりりりり

巴陵

夕うちや 向戸はらきりりりり

麦泉

鳥の如きりりりりりりりりりり

如市

あやうにらきりりりりりりりり

梅志

あやうにらきりりりりりりりり

印市

あやうにらきりりりりりりりり

五調

あやうにらきりりりりりりりり

眠花

あやうにらきりりりりりりりり

如舟

まきら

江や空し地ちらぬおに物のみ

其重

枝植にわくぬのそく川う那

師田

五涼

おんぼくまめあはるんてん

鳥毛

志らぬくやあつたふに巻るのす

上田

柳志

乙らや書はけはけな屋敷茶の間

次旌

明れおるる見すあはるし

ト二

はくしや海をばるやあのみ

鳥矢

いのおおたの古屋あつたれり

山夕

あつたえんにあまのわのたれり

葉雨

燕あつたえん君もあつたの海

南文

ふぬの揺るあつたはあつたの船

燕船

あまの舟揺るあつたあつた

舟路

船を遊ぶはあつたあつた

舟路

時やあつたあつたあつたあつた

湖舟

舟楫あつたあつたあつたあつた

都丘

うらの舟あつたあつたあつたあつた

龜曉

船あつたあつたあつたあつた

又明

いさあつたあつたあつたあつた

菅瓶

春の夜の光をてしとて行く船

さきか
早良

亦解

春の夜の光をてしとて行く船

雨竹

春の夜の光をてしとて行く船

危几

春の夜の光をてしとて行く船

花竹

春の夜の光をてしとて行く船

平林

春の夜の光をてしとて行く船

笠松

春の夜の光をてしとて行く船

如雪

春の夜の光をてしとて行く船

休島

春の夜の光をてしとて行く船

大露

十二

春の夜の光をてしとて行く船

合名

知二

春の夜の光をてしとて行く船

大の

巴舟

春の夜の光をてしとて行く船

板鼻

柳面

春の夜の光をてしとて行く船

善輪

夕白

春の夜の光をてしとて行く船

小塔

雨英

春の夜の光をてしとて行く船

全古

有慶

春の夜の光をてしとて行く船

傳雨

春の夜の光をてしとて行く船

二時

算の何にさうしうはあ中か
覚てさうい 中殿しすいさうはあ
接り買かぬのあさうや 穂のくれ
一歌よあさういさうい 穂のくれ
ふ人のあさういさうい 穂のくれ
うさういさういさうい 穂のくれ
尾形ちういねん中つたあさうい
のういさういさうい 穂のくれ
わのいさういさうい 穂のくれ

しんぎ

如扇

仙肌

忠悲

村江

戸奴

風度

石衣

春の露

霞石

報へのさういさうい 穂のくれ
すまういさういさうい 穂のくれ
揚よあさういさうい 穂のくれ

しんぎ

御前

あさうい

あさうい

あさうい

あさうい

あさうい

あさうい

あさうい

あさうい

あさうい

つ村の母の... 柳葉

甲子

柳葉

長川

長川

長川

あつたよき... 長川

長川

あつたよき... 長川

長川

あつたよき... 長川

長川

あつたよき... 長川

長川

あつたよき... 長川

長川

あつたよき... 長川

川

長川

あつたよき... 長川

長川

あつたよき... 長川

川

長川

あつたよき... 長川

長川

長川

川

長川

あつたよき... 長川

長川

あつたよき... 長川

長川

あつたよき... 長川

長川

梅雪の白くもあく白ひり

斗雲

作如

吹雪の白くもあく白ひり

長川

白如

雪の白くもあく白ひり

高輝
春雪

雪の白くもあく白ひり

一本

雪の白くもあく白ひり

結衣

雪の白くもあく白ひり

白如

雪の白くもあく白ひり

路告

十又

修徳

於代

雪の白くもあく白ひり

山雪

雪の白くもあく白ひり

言
和雪

雪の白くもあく白ひり

雨体

雪の白くもあく白ひり

可水

子雪

雪の白くもあく白ひり

薄玉

出如

雪の白くもあく白ひり

水磨

いかにあ

白雲

世宗

あしきくそのかきおのふいふに

園南

春を風や吹きさうくあはれまをさるる

霞甲

吾等や春を井吹て故の春のま

成美

昔らえの浪をこめ田の村の船

休居

高倉

とくしあうおんまらりくあつこ

醉云

朝の芳や折るるはくく星原と

古河

可島

春の雨霧散く遠くは無きか

若菜

霞のうしあおのひさるく朝の秋

淡柳

古河や神鏡かきる候このは

麦雨

西の川や水のさくくそめ田の麦

古河

船長

水あふやちよはりはあまの春

柳倉

松栞

あまのうらみさるるあまの春にり

鳥春

浪の石

おあしきくそのかきおのふいふに

右嶺

白雲

あまのうらみさるるあまの春にり

燕子

草木雲

若くはの由をいふは 視やう
若草に 競ひをせしと 大塚に
採るふくしと あり枝のしほ
ふくしと 枝まきと ありて 大塚の由
採るふくし 採るふくしと 採るの側
若く入の 採るふくしと ありて ありて
若く採るふくし 採るふくしと 採るふくし
若く採るふくし 採るふくしと 採るふくし

浪毛

若草

江部

大塚

若草

大塚

若草

大塚

若草

大塚

若草

大塚

若草

大塚

若くはの由をいふは 視やう
若草に 競ひをせしと 大塚に
採るふくしと あり枝のしほ
ふくしと 枝まきと ありて 大塚の由
採るふくし 採るふくしと 採るの側
若く入の 採るふくしと ありて ありて
若く採るふくし 採るふくしと 採るふくし
若く採るふくし 採るふくしと 採るふくし

浪毛

江部

大塚

若草

大塚

若草

大塚

若草

大塚

若草

大塚

若草

大塚

若草

大塚

若草

大塚

花のまをかすかき砂田花のまをさ

遠江打布也

ひて

花のまをのまに花のまをさ

皇都

皇都

花のまや花のまをさ

花のま

土産花連

梅のまをさ

梅のまをさ

梅のま

梅のまをさ

梅のま

梅のまをさ

梅のま

梅のまをさ

梅のま

梅のまをさ

梅のま

梅のまをさ

梅のま

梅のまをさ

梅のま

梅のまをさ

梅のま

梅のまをさ

梅のま

梅のまをさ

梅のまをさ

土産花連

梅のま

梅のまをさ

梅のまをさ

土産花連

梅のま

中

ついでに... 甘... 風... 御... 由

中

中

書肆一湖亭
源工
十九大尾

